

○家屋倒壊等氾濫想定区域設定の必要性

洪水時に家屋が流出・倒壊等のおそれがある範囲で、洪水時における  
**水平避難が必要な区域・垂直避難が可能な区域の判断等に有効な情報**となります。

○家屋倒壊等氾濫想定区域の種類

家屋倒壊等氾濫想定区域は、**【氾濫流】と【河岸侵食】の2種類**あります。

家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)

- ・河川堤防の決壊又は洪水氾濫流により、  
木造家屋の倒壊のおそれがある区域

イメージ



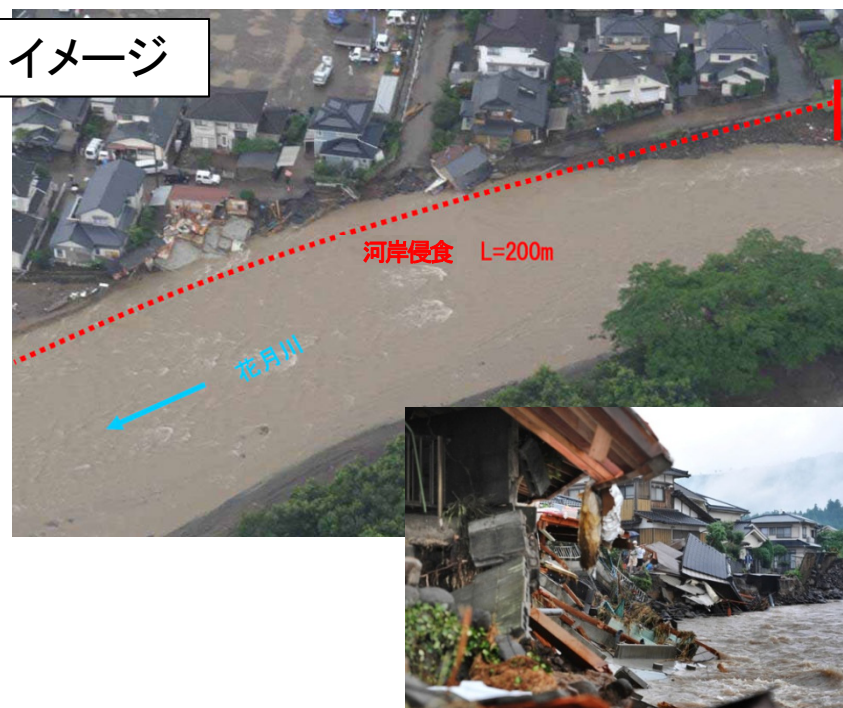
流失家屋の位置

堤防決壊に伴い木造家屋が倒壊した状況

家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)

- ・洪水時の河岸侵食により、  
木造・非木造の家屋倒壊のおそれがある区域

イメージ



河岸侵食 L=200m

花月川

河岸侵食により家屋倒壊した状況

## ○家屋倒壊等氾濫想定区域の設定方法

### ■家屋倒壊等氾濫想定区域(氾濫流)

一般的な構造の**木造家屋**について、水深と流速から倒壊等をもたらすような氾濫流が発生するおそれのある区域を推算しています。  
**頑強な高層のビルがある場合には、倒壊等の恐れは低いため、ただちに立退き避難が必要との判断にはならない場合もあります。**

### ■家屋倒壊等氾濫想定区域(河岸侵食)

**家屋の基礎を支える地盤が流出するような河岸侵食が発生するおそれのある区域を推算しています。**  
過去の洪水規模別に発生した河岸侵食幅より、**木造・非木造の家屋の倒壊等**をもたらすような洪水時の河岸侵食幅を河岸高(堤内地盤高と平均河床高の差)や川幅等から推算しています。